

URL [https:// kenren.miyagi.coop/](https://kenren.miyagi.coop/)

# 県連速報

●発信元  
宮城県生活協同組合連合会  
●責任者 加藤 房子  
●TEL 022-276-5162  
●FAX 022-276-5160  
●2024.04.04  
第694号  
(2024年度:2号)

## ●2023年度冬灯油（9月25日～3月20日）の価格について以下のように決定しました。

1. 2023年度冬の生協配達灯油精算価格（3月20日まで分）を加重平均お任せ給油価格（税込）1ℓ当たり118.5円、1缶18ℓ2,133円といたします。メンバー（組合員）への割戻しは実施いたしません。  
(1) 2023年9月25日(月)から2024年3月20日(水)を1回目の対象期間として精算を行います。

**決定価格（税込） 1ℓ当たり118.5円 18ℓ1缶2,133円**

### 【暫定価格】

対象期間	2023年9月25日～2023年11月17日		2023年11月18日～2024年3月20日	
単位:円	1缶18ℓ	1ℓ	1缶18ℓ	1ℓ
お任せ価格(税込)	2,232	124.0	2,124	118.0
個缶価格(税込)	2,250	125.0	2,142	119.0

### 【決定価格】

対象期間	2023年9月25日～2023年11月17日		2023年11月18日～2024年3月20日	
単位:円	1缶18ℓ	1ℓ	1缶18ℓ	1ℓ
お任せ価格(税込)	2,232	124.0	2,124	118.0
個缶価格(税込)	2,250	125.0	2,142	119.0

- (2) メンバー（組合員）への割戻しは実施いたしません。決定価格のご案内は4月8日(月)からホームページ・灯油納品書・宅配納品書で順次実施します。  
(3) 給油量に応じたボーナスポイント付与については、冬灯油配達期間終了後に実施します（期間累計500ℓ以上給油の方対象に5月度でポイント付与します）。

## 2. 理由

- (1) お任せ給油の期間中加重平均価格は「1ℓ当たり118.49円、1缶18ℓ2,133円」となりました。  
(2) 宮城県連灯油モニター調査平均価格の期間加重平均価格は「1ℓ当たり121.06円・1缶18ℓ2,179円」となり、お任せ給油決定価格の方が1ℓ当たり2.57円安い価格となりました。  
(3) 資源エネルギー庁公表宮城県平均価格の期間加重平均価格は「1ℓ当たり120.64円・1缶18ℓ2,171円」となり、こちらもお任せ給油決定価格の方が1ℓ当たり2.15円安い価格となりました。

### 【期間加重平均価格】

単位:円(税込)	1ℓ当り	18ℓ1缶
生協「お任せ」決定価格	118.49	2,133
生協「個缶」決定価格	119.46	2,150
灯油モニター調査店平均価格	121.06	2,179
エネルギー庁公表宮城県平均価格	120.64	2,171

- (4) 生協お任せ給油加重平均価格は、灯油モニター調査加重平均価格および資源エネルギー庁公表宮

城県平均価格より安い価格水準のため割戻しは実施いたしません。

- (5) 2023年度冬灯油配達期間は2023年9月25日～2024年4月26日となりますが、今回は2023年9月25日～2024年3月20日までの1回目の精算となります。
- (6) 2回目の精算は配達期間2024年3月21日～2024年4月26日で精算し、5月度に決定価格の提案をおこないます。

### 3. 石油情勢について

#### (1) 冬灯油期間の原油価格・為替の動きについて

- ①2022年2月からのロシアによるウクライナ軍事侵攻の継続に加え、2023年10月に始まったイスラエルとハマスの紛争が、国際エネルギー情勢に多大な影響を及ぼし、価格高騰となりました。
- ②原油価格の高騰、世界石油需要の不透明感、米国利上げ長期化懸念、ロシア制裁による影響等々が原油価格に反映し、75ドル～90ドルの高値で推移しました。
- ③為替レートは、変動幅(150円～140円台)が大きく、円建て原油価格・卸価格に影響を与えました。

(2) 国内卸価格は、原油価格高騰および為替の影響を受け、期間通して高値で推移しました。

(3) しかし、政府の燃料油価格激変緩和策事業が10月以降も延長されたことで、小売価格は高値となりましたが比較的安定した結果となりました。

※燃料油価格激変緩和対策：高騰している原油価格が経済回復の重荷にならないよう、石油元売・輸入事業者には価格上昇を抑える原資を支給して、ガソリンや灯油などの小売価格の急騰を抑えることを目的とした補助金です。石油元売り各社の卸価格を抑え、最終的に小売価格に反映させることで価格高騰を抑制しています。

### 4. 利用動向について

- (1) 冬灯油期間の一世帯当たりの利用数量は、予算比91.8%、前年比93.5%となりました。暖冬の影響と、期間を通して価格が高値で推移したことも、数量減の要因と考えられます。
- (2) 仙台市平均気温前年差は、10月+1.2度、11月度▲0.5度、12月+0.6度、1月度+2.1度、2月度+1.7度、3月度▲2.0度と、最需要期の1月、2月に気温が高く推移したことが数量減の要因につながっています。
- (3) 冬灯油期間の新規登録者は2,538人、内WEB申込は661人でした。